

# UV硬化型RTVシリコーンゴムの 3つの硬化タイプ

UV硬化型RTVシリコーンゴムの種類は、速硬化のラジカル重合タイプ、UV照射後、常温あるいは加熱で遅延硬化するUV付加タイプ、UV光が届かないエリアも縮合で硬化するラジカル・縮合併用タイプなど、バラエティーに富んでいます。



## ■ UV硬化タイプの種類と特長

項目		タイプ	ラジカル重合	UV付加	ラジカル・縮合併用
特長			速硬化、低硬度～高硬度 シリコーンとポリイミドシリコーンの ラインアップ	UV照射後の貼り合わせ (工程逆転)が可能 室温硬化による超低収縮 低温加熱による硬化時間短縮	UV光が届かない箇所も 縮合反応で硬化する
反応副生成物			—	—	アルコールまたはアセトン
硬化性	UV		速い	遅い	速い
	加熱		NA	常温～80℃×1h	NA
	湿気		NA	NA	1日～*1
硬化阻害	酸素		受ける	受けない	受ける*2
	S・N・P化合物		受けない	受ける	受けない
	酸、アルコールなど		受けない	受ける	受ける

\*1 硬化に要する時間は、厚さによって異なります。縮合反応タイプの硬化性については、電気・電子用RTVシリコーンゴムのカタログを参照してください。

\*2 酸素阻害を受けた箇所は縮合反応で硬化します。